

J S C Aベーシックカヤック検定 報告書

2019年6月23日

報告者 : かがしまカヤックス 野元尚巳



○日時

2019年6月20～21日

○開催場所

1) 知識、筆記試験
6月21日
鹿児島県大島郡龍郷町芦徳 419-1 カレッタハウス

2) 技術検定および安全講習
6月20日
鹿児島県奄美市住用町大字役勝 役勝川河口

○検定員

野元尚巳

○受講者

5名

○知識課目

5名ともすでにカヤックガイド、ダイビングガイド、ライフセーバーとして長年行っているため、基礎知識は十分にある。ただ漠然とした知識も多々見受けられたので、それらを論理的に解説する。試験は合格点だが、みんな同じような点に認識不足が見られたので、試験後に再講習を行う。

○技術検定

今までカヤックの指導を受けた事がない方ばかりなので、漕ぎに多少癖が見られる。事前講習で修正指導したので、検定ではなんとか合格点を超えていた。

技術を習得しようとする意識が高まったと見受けられる。

○安全講習

ノーマルのレクリエーションカヤックなので浮力対が挿入されていない。その状態でのセルフレスキューができるかを体感してもらう。浮力対の必要性を説明する。その後、グループレスキュー（Xレスキュー）を指導したのち何度も実践してもらう。

牽引はカヤックに取り付けたロープで引いていたので、その方式の利点・欠点を確認してもらう。また当方のポシット式の牽引システムを使用してもらい、利点・欠点を確認してもらう。

この地域は業者も含めてかなり安全認識が低く、PFDを装着していないガイドがかなり見受けられる。なぜPFDが必要かの論理的、法的説明も必要だった。安全講習での水に落ちた時や、再乗艇時にPFDがある無しの状態を体感してもらう。

浮力体を入れていないカヤックや、ツアーで使用しているPFDの問題点などの指摘や解決法などを指導した。

○所感

奄美方面は梅雨の影響で予定していた日時に洪水で会場がクローズになる。その為に日程を変更し、天候を見ながら先に技術検定、安全講習をおこなう。その影響で知識課目の会場も急遽変更せざるを得なかった。

5名ともすでにカヤックガイドなどの自然体験系活動の経験者なので試験等は問題ない。

今回の検定を当初依頼した方が認識の高い方なので、今回の受講者は安全が高まると思う。また今回の検定を見ていた他業者の中にも安全意識が高まることを期待したい。